取扱説明書

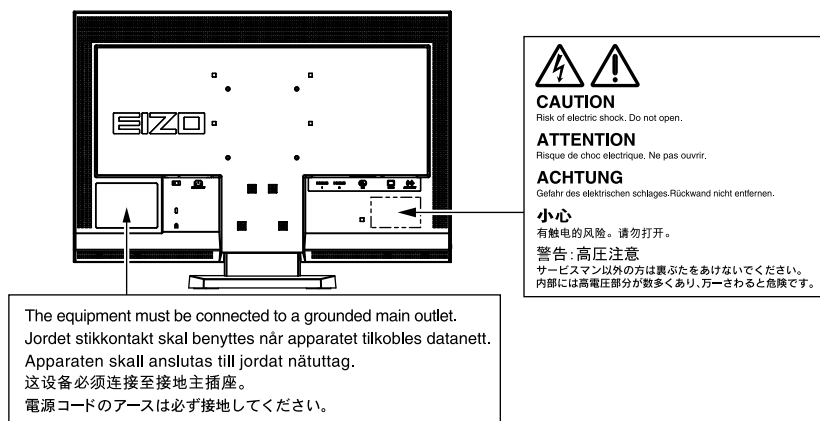
FORIS®
FS2332

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

警告表示位置

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

● パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナ紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

● キャビネット

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に約 10 分の休憩を取ってください。

目次

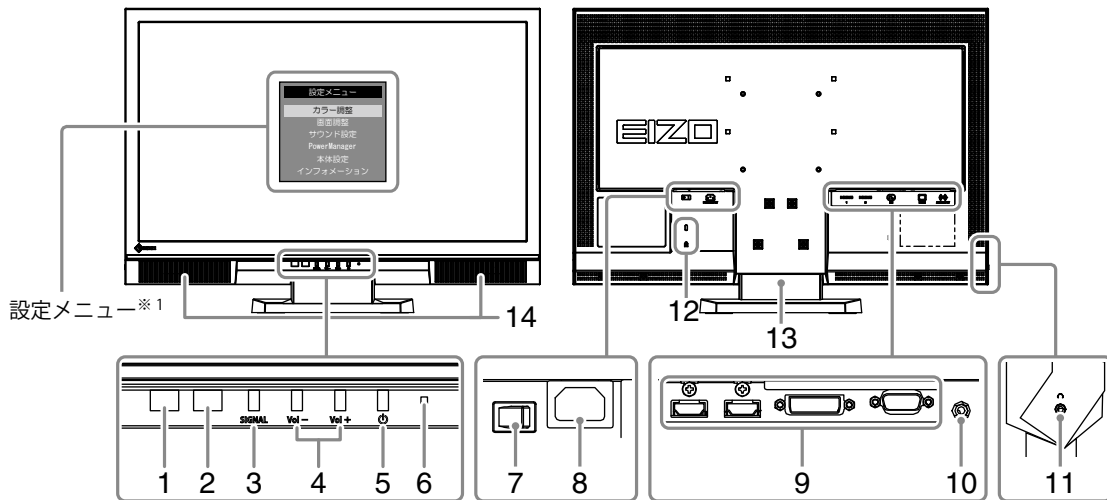
第 1 章　はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1 - 1. 特長

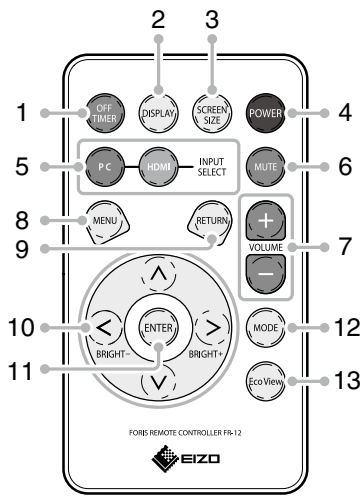
- 23 型ワイド画面
- 解像度 1920 × 1080 対応
- 広視野角パネル採用
  IPS パネルによる上下 178°、左右 178°の広視野角を実現
- HDMI コネクタ（× 2）を搭載
  HDMI入力で PC信号に対応。コンピュータのデジタル信号 3 系統入力が可能です。
- カラーモード機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
  紙を見るような目に優しい表示を再現した Paper モードを搭載しています。
  「表示モード（カラーモード）を選択する」（P.15）参照
- コントラスト拡張機能搭載
  映像に応じてコントラスト感を自動的に調整し、高コントラストでメリハリのある動画表示を実現します。
  「コントラスト拡張の設定をする「コントラスト拡張」」（P.20）参照
- Smart Resolution 機能搭載
  画像の解像感を高めることで、ぼやけを改善して鮮やかでクリアな表示にすることができます。
  また、画像の肌色、文字、動画領域を検出し、それぞれの特徴に合った補正をおこなうことで、不自然さや違和感のない表示を実現します。
  「画像の鮮鋭度を調整する「Smart Resolution」」（P.21）参照
- ゲーム映像に適した専用のガンマモードを 2 種類（「Power1」/「Power2」）搭載
  中間階調（Power1）/ 低階調（Power2）のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。
  「ガンマを調整する「ガンマ」」（P.19）参照
- ドット・バイ・ドット（入力信号のままの大きさで画像を表示）やレターボックス、オーバースキャン（入力映像の表示範囲の切り替え）など豊富な画面サイズ設定が可能
  「2 - 5. 画面サイズを切り替える」（P.26）参照
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）」添付
  「1 - 3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて」（P.10）参照
- リモコンによる簡単操作、各種調整 / 設定が可能
  「1 - 2. 各部の名称と機能」（P.8）参照
- モニター下部に貼るカラーシート（3 色）を添付
  お好みの色を選択して、モニターにアクセントを加えることができます。
  「セットアップガイド」参照
- 著作権保護技術 HDCP対応
- ステレオスピーカー、ヘッドホンジャック装備
  「1 - 2. 各部の名称と機能」（P.8）参照

1-2. 各部の名称と機能

モニター本体

1. **Auto EcoView センサー**	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P.34）
2. **リモコン受光部**	リモコンからの信号を受信します。
3. **SIGNAL ボタン**	表示する入力信号を切り替えます（P.36）。 PC1（DVI）→ PC2（D-SUB）→ HDMI1 → HDMI2
4. **Vol －/ Vol ＋ボタン**	音量設定画面を表示し、音量を調整します。
5. **⏻ ボタン**	電源のオン / オフを切り替えます。
6. **電源ランプ**	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 橙：　省電力モード 赤：　電源オフ 消灯：　主電源オフ
7. **主電源スイッチ**	主電源のオン / オフを切り替えます。
8. **電源コネクタ**	電源コードを接続します。
9. **信号入力コネクタ**	左：HDMI コネクタ× 2（HDMI1、HDMI2）/ 中：DVI-Dコネクタ / 右：D-Sub15ピン（ミニ）コネクタ
10. **ステレオミニジャック**	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
11. **ヘッドホンジャック**	ヘッドホンを接続します。
12. **盗難防止用ロック**	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
13. **スタンド**※2	角度が調整できます。
14. **スピーカー**	音声を再生します。

※1 使用方法は、「設定メニューの基本操作方法」（P.11）を参照してください。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「7-1. オプションアーム取付方法」（P.41）参照）。

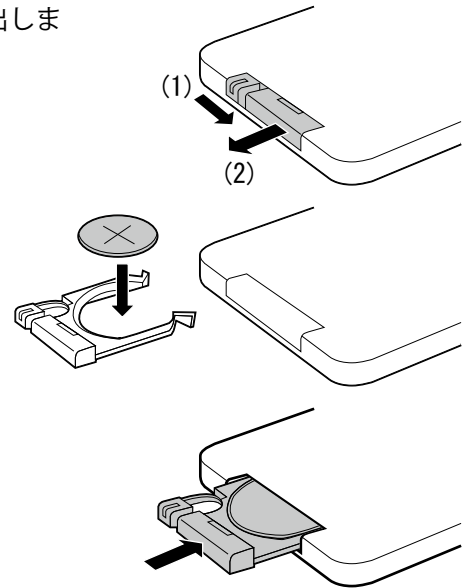
リモコン

1. OFF TIMER		電源が切れるまでの時間を設定します。
2. DISPLAY		現在の入力ポートを表示します。
3. SCREEN SIZE		画面サイズを切り替えます。
4. POWER		電源のオン / オフを切り替えます。
5. INPUT SELECT		表示する入力信号を切り替えます。
	PC	PC1（DVI）→ PC2（D-SUB）
	HDMI	HDMI1 → HDMI2
6. MUTE		音声を一時的に消します。
7. VOLUME ＋ / −		音量を調整します。
8. MENU		設定メニューを表示 / 終了します。
9. RETURN		メニュー操作時、メニューを一つ前の画面に戻します。
10. ＜ / ∧ / ∨ / ＞		• 設定メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。 • ＜ / ＞：ブライトネス（明るさ）調整画面を表示します（P.17）。
11. ENTER		各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
12. MODE		カラーモードを切り替えます。
13. EcoView		EcoView メニューを表示 / 終了します。

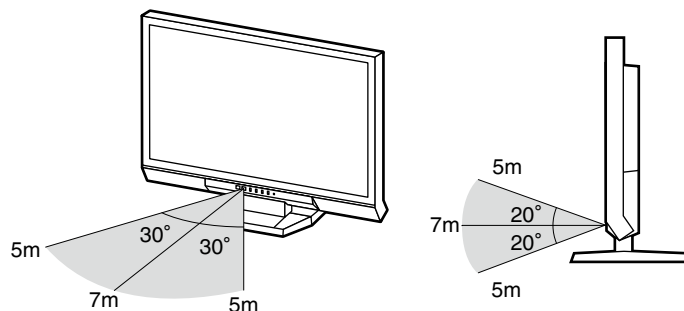
● リモコンについて

電池の入れ方

1. 爪を矢印の方向に押しながら（1）、電池ケースを引き出します（2）。

2. 「＋（プラス）」側を上にして、電池を入れます。（電池型番：CR2032）

3. カチッと音がするまで電池ケースを差し込みます。

リモコン受信範囲

リモコンは図の範囲から操作してください。

1-3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txt ファイル		○	○
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）	マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェアです。 HDMI 入力に接続したコンピュータでは動作しません。	○	-
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効率よく配置するソフトウェアです。	○	-
モニターの取扱説明書（PDF ファイル）		○	○

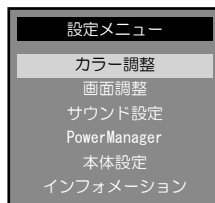
● ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）/EIZO ScreenSlicer を使用するときは

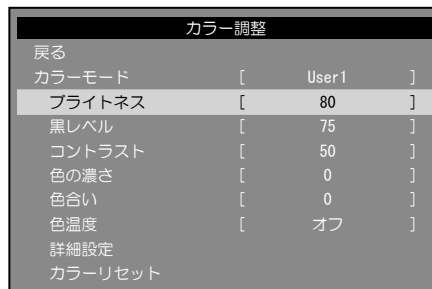
ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）/EIZO ScreenSlicer のインストール方法、使用方法については、ディスク内のそれぞれの取扱説明書を参照してください。

1-4. 基本操作と機能一覧

● 設定メニューの基本操作方法

1. 設定メニューの表示

1. リモコンの (MENU) を押し、設定メニューを表示します。

2. 調整 / 設定

1. (∧)(∨) で、調整 / 設定したいメニューを選択し、(ENTER) を押します。サブメニューが表示されます。

2. (∧)(∨) で、調整 / 設定したい項目を選択し、(ENTER) を押します。調整 /設定メニューが表示されます。

3. (<)(∧)(∨)(>) で、調整 / 設定し、(ENTER) を押して確定します。

3. 終了

1. (MENU) を押します。

参考

- リモコンの (RETURN) を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

● 機能一覧

設定メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー調整※1	カラーモード		「2 - 3. カラー調整をする」（P.15）
	ブライトネス		
	黒レベル		
	コントラスト		
	色の濃さ		
	色合い		
	色温度		
	詳細設定	ガンマ	
		ゲイン	
		コントラスト拡張	
		Smart Resolution	
		オーバードライブ	
	カラーリセット		「3 - 9. 初期設定に戻す」（P.31）
画面調整	自動画面調整※2		「2 - 4. 画面の調整をする」（P.22）
	自動レンジ調整※2		
	クロック※2		
	フェーズ※2		
	ポジション※2		
	カラースペース※3		
	スムージング		
サウンド設定	音源※3		「3 - 2. HDMI 信号入力時の音源を切り替える「音源」」（P.28）
	音声レベル		「3 - 3. 音声のレベルを調整する「音声レベル」」（P.29）
	パワーセーブ		「4 - 1. パワーセーブの設定をする「パワーセーブ」」（P.32）
PowerManager	パワーセーブ		
本体設定	DDC/CI		「3 - 4. DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する「DDC/CI」」（P.29）
	操作ロック		「3 - 5. 操作ボタンをロックする「操作ロック」」（P.29）
	起動ロゴ		「3 - 6. EIZO ロゴ表示を設定する「起動ロゴ」」（P.30）
	電源ランプ		「4 - 2. 電源ランプの表示を設定する「電源ランプ」」（P.33）
	言語選択		「3 - 7. 表示言語を設定する「言語選択」」（P.30）
	リセット		「3 - 9. 初期設定に戻す」（P.31）
インフォメーション			「7 - 3. モニター情報を表示する「インフォメーション」」（P.42）

※1「カラー調整」で調整 / 設定できる機能はモードにより異なります。表は User1、2 モードの場合の項目です。
※2 アナログ信号入力の場合に調整できます。
※3 HDMI 信号入力の場合に設定できます。

第 2 章　画面を調整する

2 - 1. 対応解像度 / 対応フォーマット

この製品は次の解像度 / フォーマットに対応しています。

アナログ信号（D-Sub）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA, VESA, CEA-861	～ 75 Hz	148.5 MHz（Max.）
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	～ 75 Hz	
1024 × 768	VESA	～ 75 Hz	
1280 × 720	CEA-861	60 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024	VESA	～ 75 Hz	
1680 × 1050	VESA CVT, VESA CVT RB	60 Hz	
1920 × 1080 ※	CEA-861	60 Hz	

デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC 信号）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA, CEA-861	60 Hz	148.5 MHz（Max.）
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	60 Hz	
1024 × 768	VESA	60 Hz	
1280 × 720	CEA-861	60 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024	VESA	60 Hz	
1680 × 1050	VESA CVT, VESA CVT RB	60 Hz	
1920 × 1080 ※	CEA-861	60 Hz	

VESA 規格および CEA-861 に準拠したグラフィックスボードが必要です。
※推奨解像度です。

デジタル信号（HDMI：ビデオ信号）入力時

- 映像信号
  - VGA / 525p（480p）/ 750p（720p）/ 1125p（1080p）：60 Hz
  - 625p（576p）/ 750p（720p）/ 1125p（1080p）：50 Hz
- 音声信号
  - 2ch リニア PCM（32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz）

2 - 2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 7 の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
3. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
4. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、［OK］ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、［変更を維持する］ボタンをクリックします。

Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、［OK］ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、［はい］ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS X の場合

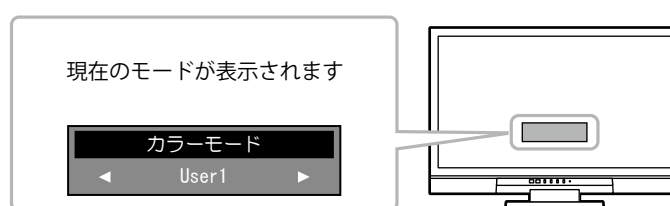
1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-3. カラー調整をする

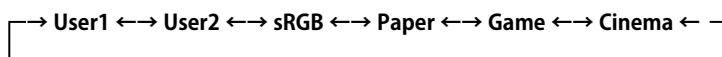
● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
User1	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
User2	
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	コントラストおよび色温度を低くすることで、紙に印刷したような見え方になります。
Game	ゲーム映像の表示に適しています。
Cinema	映画などの映像の表示に適しています。

設定方法

1. リモコンの (MODE) を押します。
   モード名が画面中央に表示されます。
2. (MODE) を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
   モードメニュー表示中は、(<) または (>) でモードを切り替えることもできます。

→ User1 ←→ User2 ←→ sRGB ←→ Paper ←→ Game ←→ Cinema ←

参考

- 設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）を使うと、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります（ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）の取扱説明書「第 3 章 オートファインコントラスト」参照）。

● 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する「自動レンジ調整」」（P.25）」参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます（ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）の取扱説明書「第 4 章 カラー調整」参照）。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整 / 設定できない機能は選択できません。）
各機能の設定方法については、次ページ以降を参照してください。

○：調整可　―：調整不可

機能名		カラーモード				
		User1 User2	sRGB	Paper	Game	Cinema
ブライトネス		○	○	○	○	○
黒レベル		○	―	―	○	○
コントラスト		○	―	―	○	○
色の濃さ		○	―	―	○	○
色合い		○	―	―	○	○
色温度		○	―	○	○	○
詳細設定	ガンマ	○	―	―	○	―
	ゲイン	○	―	―	―	―
	コントラスト拡張	○	―	―	○	○
	Smart Resolution	○	―	○	○	○
	オーバードライブ	○	―	―	○	―
カラーリセット		○	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する「ブライトネス」

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. ＜ または ＞ を押します。
   ブライトネスメニューが表示されます。
2. ＜ または ＞ で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ブライトネスが 100 でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
- 設定メニューの「カラー」－「ブライトネス」で調整することもできます。

● 黒レベルを調整する「黒レベル」

映像の黒色の状態を調整します。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「黒レベル」を選択し、ENTER を押します。
   「黒レベル」が表示されます。
3. ＜ または ＞ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。

● コントラストを調整する「コントラスト」

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「コントラスト」を選択し、ENTER を押します。
   「コントラスト」が表示されます。
3. ＜ または ＞ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 50 ですべての色階調を表示します（PC 信号入力のみ）。
- 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが 100 でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを 50 以上に設定します。）

● 色の濃さを調整する「色の濃さ」

色の濃さを調整します。

設定範囲

-50 ～ 50

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色の濃さ」を選択し、ENTER を押します。
   「色の濃さ」が表示されます。
3. < または > で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値（-50）で白黒の画面となります。

● 色合いを調整する「色合い」

色合いを調整します。

設定範囲

-50 ～ 50

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色合い」を選択し、ENTER を押します。
   「色合い」が表示されます。
3. < または > で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色温度を調整する「色温度」

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、4000K ～ 10000K（500K 単位、9300K 含む）

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色温度」を選択し、ENTER を押します。
   「色温度」が表示されます。
3. < または > で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する「ゲイン」」（P.20）」参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ガンマを調整する「ガンマ」

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.8、2.0、2.2、2.4、2.6、2.8、Power1、Power2

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「ガンマ」を選択し、ENTER を押します。
   「ガンマ」が表示されます。
4. < または > で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「Power1」を選択すると中間階調のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。
- 「Power2」を選択すると低階調のコントラストを強調し、暗い映像が見やすくなります。

● ゲインを調整する「ゲイン」

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「ゲイン」を選択し、ENTER を押します。
   「ゲイン」が表示されます。
4. 赤、緑、青それぞれの値を < または > で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● コントラスト拡張の設定をする「コントラスト拡張」

明るいシーンや暗いシーンなど、シーンに応じて自動的にコントラストを調整する / しないの切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「コントラスト拡張」を選択し、ENTER を押します。
   「コントラスト拡張」が表示されます。
4. < または > で「有効」または「無効」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「有効」に設定すると、高コントラストでメリハリ感のある画像にすることができます。

● 画像の鮮鋭度を調整する「Smart Resolution」

画像の解像感を高めることで、ぼやけを改善し鮮やかでクリアな表示にすることができます。また、画像の肌色、文字、動画領域を検出してそれぞれに合った補正をおこない、不自然さや違和感のない表示にすることもできます。

この製品では、解像感の設定（「レベル」）と、肌色、文字、動画領域の解像感の補正設定（「肌補正」「文字補正」「動画領域補正」）ができます。

補正の内容は次のとおりです。

肌補正	画像の肌色部分を検出し、肌色が自然な見え方になるよう補正します。
文字補正	画像の文字部分を検出し、文字の色付きや文字周辺部のにじみを抑えるよう補正します。（デジタル信号入力時での使用をお勧めします。）
動画領域補正	動画と静止画では最適な解像感の設定が異なるため、同じ設定では見た目の印象が異なります。画像の動画部分を検出し、動画部と静止画部の見た目が同じ印象になるよう補正します。

注意点

- 「文字補正」は「画面サイズ」を「ノーマル」に設定している場合にのみ有効です。
- 「動画領域補正」はデジタル信号入力時にのみ有効です。

参考

- 「Smart Resolution」を機能させたくない場合は、「レベル」を「オフ」に設定してください。
- 「レベル」の設定を「オフ」にすると、「肌補正」/「文字補正」/「動画領域補正」が選択できなくなります。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、(ENTER) を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、(ENTER) を押します。
3. 「詳細設定」で「Smart Resolution」を選択し、(ENTER) を押します。
4. 「Smart Resolution」で「レベル」を選択し、(ENTER) を押します。
   「レベル」が表示されます。
5. (<) または (>) で設定します。
6. 設定を完了する場合は、手順 9 に進んでください。
   引き続き、「肌補正」/「文字補正」/「動画領域補正」をおこなう場合は、手順 7 に進んでください。
7. 補正したい項目を選択し、(ENTER) を押します。
   それぞれの設定画面が表示されます。
8. (<) または (>) で「有効」または「無効」を設定します。
9. 設定が完了したら (ENTER) を押します。

参考

- 「レベル」/「肌補正」/「文字補正」/「動画領域補正」の設定状態をデモ画面で確認することができます。
  「Smart Resolution」表示中に (<) または (>) を 2 秒以上長押しすると、デモ表示になります。通常表示に戻すには、(<) または (>) を 2 秒以上長押しします。
  - 画面左半分： Smart Resolution 設定状態
  - 画面右半分： Smart Resolution オフ状態
- デモ表示中にも、それぞれの設定を変更することができます。
  設定画面が表示されていない場合は、(MENU)、(<)、(>) を押すと再度表示されます。
- 「動画領域補正」を「有効」に設定すると、動画として検出された領域を囲うマゼンタ色の枠がデモ画面上に表示されます。

● オーバードライブの強さを設定する「オーバードライブ」

モニターの用途に応じて、オーバードライブの強さを設定することができます。動画を表示する場合は、「強」にすることで、残像感を低減します。

設定範囲

強、普通、オフ

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「オーバードライブ」を選択し、ENTER を押します。
   「オーバードライブ」が表示されます。
4. ＜ または ＞ で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 次の場合は、オーバードライブ機能が無効になります。
  - 入力信号の垂直走査周波数が 60Hz を超える場合
  - 画面サイズが「ノーマル」（表示解像度が 1920 × 1080 のときを除く）、「レターボックス」の場合

2 - 4. 画面の調整をする

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、「6. 文字や線のぼやけを直します。」（P.26）」にお進みください。
さらに詳細な調整をおこなう場合は「2 - 3. カラー調整をする」（P.15）」以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- 解像度 800 × 600（SVGA）未満の信号ではセルフアジャスト機能（自動画面調整機能）は働きません。
- セルフアジャスト機能 / 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合

  また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面の調整をしてください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する「自動画面調整」

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、(ENTER) を押します。
2. 「画面調整」で「自動画面調整」を選択し、(ENTER) を押します。
3. (<) または (>) で「はい」を選択し、(ENTER) を押します。

   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

「1. 自動調整をします。」(P.23)」を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.25）」にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

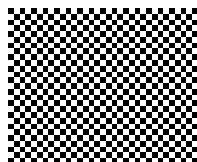
参考

- 「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txt ファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する「自動画面調整」

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン 1 を画面全体に表示します。

2. 設定メニューの「画面調整」を選択し、(ENTER) を押します。
3. 「画面調整」で「自動画面調整」を選択し、(ENTER) を押します。
4. (<) または (>) で「はい」を選択し、(ENTER) を押します。

   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

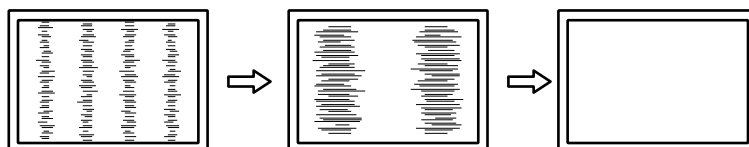
「3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。」(P.23)」を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.25）」にお進みください。

4. 設定メニューの「画面調整」で詳細な調整をします。

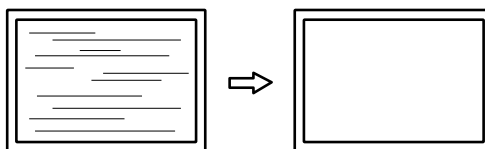
クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す「クロック」

設定方法

1.「画面調整」で「クロック」を選択し、(ENTER) を押します。
「クロック」が表示されます。
2. (<) または (>) で縦縞が消えるように設定します。
設定が合ったポイントを見逃しやすいので (<) (>) をゆっくり押して設定するようにしてください。
3. 設定が完了したら (ENTER) を押します。
設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる「フェーズ」」にすすみ設定をおこなってください。

● ちらつきやにじみをとる「フェーズ」

設定方法

1.「画面調整」で「フェーズ」を選択し、(ENTER) を押します。
「フェーズ」が表示されます。
2. (<) または (>) で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
3. 設定が完了したら (ENTER) を押します。
設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す「クロック」」に戻り、再度設定をおこなってください。
（クロック→フェーズ→ポジション）

注意点

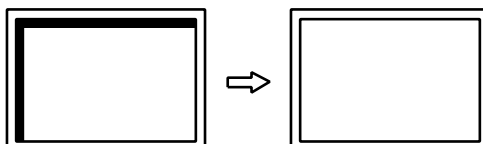
- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

● 表示位置のずれを直す「ポジション」

参考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

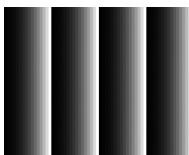
1.「画面調整」で「ポジション」を選択し、(ENTER) を押します。
「ポジション」が表示されます。
2. 画像の位置が合うように (<) / (∧) / (∨) / (>) で設定します。
3. 設定が完了したら (ENTER) を押します。

4. パターン 1 を閉じます。

5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する「自動レンジ調整」

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1.「画面調整パターン集」のパターン 2 を画面全体に表示します。

2. 設定メニューの「画面調整」を選択し、(ENTER) を押します。
3.「画面調整」で「自動レンジ調整」を選択し、(ENTER) を押します。
4. (<) または (>) で「はい」を選択し、(ENTER) を押します。
出力レンジが自動的に設定されます。
5. パターン 2 を閉じます。

6. 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す「スムージング」

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意点

- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1 ～ 5

設定方法

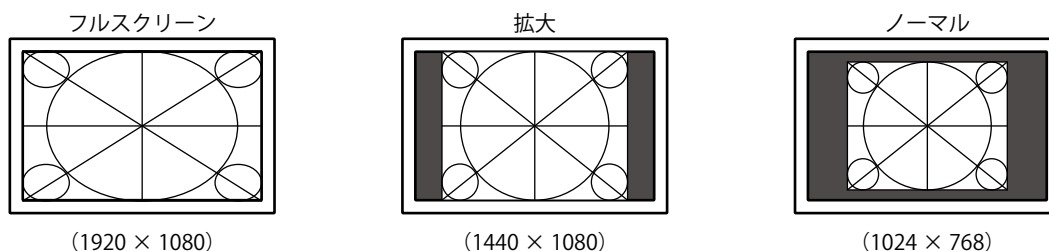
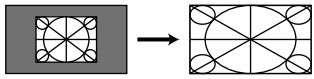
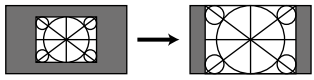
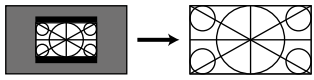
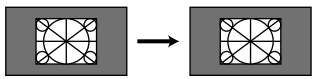
1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「画面調整」で「スムージング」を選択し、ENTER を押します。
   「スムージング」が表示されます。
3. < または > で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

2 - 5. 画面サイズを切り替える

● アナログ信号（D-Sub）/ デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC 信号）入力時

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1024 × 768 を表示した場合

フルスクリーン

（1920 × 1080）

拡大

（1440 × 1080）

ノーマル

（1024 × 768）

設定方法

1. リモコンの SCREEN SIZE を押します。
   SCREEN SIZE を押すたびに、サイズが切り替わります。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

● デジタル信号（HDMI：ビデオ信号）入力時

「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能	画面の見えかた
自動	外部機器から送信されてくるアスペクト比情報※1と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。HDMI（SD 信号）入力時にのみ設定できます。	
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。	
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。	
レターボックス	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。HDMI（SD 信号）入力時にのみ設定できます。	
ノーマル※2	入力信号のままの大きさで画像が表示されます。	

※1 レターボックスのアスペクト比情報は自動的に判別することができません。
※2「画面サイズ」が「ノーマル」の場合、「オーバースキャン」は「オフ」に固定されます。

設定方法

1. リモコンの SCREEN SIZE を押します。
   SCREEN SIZE を押すたびに、サイズが切り替わります。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

表示率を設定する「オーバースキャン」

画像の端の歪みやノイズを隠すため、画像の周辺部を表示しないよう入力映像の表示範囲を切り替えることができます。

設定	機能
オン	入力映像の上下左右の一部を切り取った状態で画面を表示します。
オフ	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。

設定方法

1. リモコンの SCREEN SIZE を押します。
   「画面サイズ」が表示されます。
2. ∨ で「オーバースキャン」を選択します。
3. ＜ または ＞ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「画面サイズ」が「ノーマル」の場合、「オーバースキャン」は「オフ」に固定されます。

第 3 章　モニターの設定をする

3 - 1. 音量を調整する

● 音量を調整する

スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。

設定範囲

0 ～ 30

設定方法

1. リモコンの (+) または (−) を押します。

参考

- 本体操作ボタンの Vol ＋または Vol －で調整することもできます（「1 - 2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）。
- 音量は、HDMI 入力とステレオミニジャックで共通の設定となります。

● 音を消す

設定方法

1. リモコンの (MUTE) を押します。

   音声が一時的に消えます。

   もう一度ボタンを押すか (+) を押して音量を上げると、音声が出ます。

参考

- 本体操作ボタンの Vol ＋を押しても、消音を解除することができます。
- 消音中に (−) または本体操作ボタンの Vol －を押すと、消音状態のままで音量を下げることができます。

3 - 2. HDMI 信号入力時の音源を切り替える「音源」

HDMI 信号入力時の音源を切り替えます。HDMI/ ステレオミニジャックが選択できます。

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、(ENTER) を押します。
2. 「サウンド設定」で「音源」を選択し、(ENTER) を押します。

   「音源」が表示されます。

3. (<) または (>) で「HDMI」または「ステレオミニジャック」を選択します。
4. 設定が完了したら (ENTER) を押します。

参考

- HDMI 信号入力の場合に変更できます。ただし、DVI-HDMI 変換ケーブルを使用している場合は、「ステレオミニジャック」となり、変更できません。

3 - 3. 音声のレベルを調整する「音声レベル」

入力する音声のレベルを調整します。
外部機器の平均的な音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。レベルを調整することで、音量差を軽減することができます。

設定範囲

-1 ～ 1

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「サウンド設定」で「音声レベル」を選択し、ENTER を押します。
   「音声レベル」が表示されます。
3. < または > で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 例えば、PC1 と PC2 で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの「音声レベル」の設定を上げると、音量差を軽減できます。

3 - 4. DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する「DDC/CI」

DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替えます（「7 - 5. 用語集」（P.46）参照）。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「DDC/CI」を選択し、ENTER を押します。
   「DDC/CI」が表示されます。
3. < または > で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- HDMI 入力は DDC/CI 通信に対応していません。

3 - 5. 操作ボタンをロックする「操作ロック」

本体操作ボタンでの操作をロックします。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「操作ロック」を選択し、ENTER を押します。
   「操作ロック」が表示されます。
3. < または > で「オン」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
  - 電源ボタンによる電源オン / オフ
- リモコンによる操作はロックされません。

3 - 6. EIZO ロゴ表示を設定する「起動ロゴ」

この製品の電源を入れたときに、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、(ENTER) を押します。
2. 「本体設定」で「起動ロゴ」を選択し、(ENTER) を押します。
   「起動ロゴ」が表示されます。
3. (<) または (>) で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら (ENTER) を押します。

3 - 7. 表示言語を設定する「言語選択」

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語（簡体）/ 中国語（繁体）

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、(ENTER) を押します。
2. 「本体設定」で「言語選択」を選択し、(ENTER) を押します。
   「言語選択」が表示されます。
3. (<) または (>) で言語を選択します。
4. 設定が完了したら (ENTER) を押します。

3 - 8. HDMI 信号入力時の認証方法を切り替える

ご使用の外部機器によっては機器間の認証が正常におこなわれず、画面が表示されない場合があります。その場合は、次の手順で認証方法切り替えてください。

設定方法

1. リモコンの (POWER) または本体操作ボタンの (⏻) を押して、モニターの電源を切ります。
2. 本体操作ボタンの SIGNAL を 5 秒以上押します。
   認証方法が切り替わり、モニターの電源が入ります。

参考

- 入力ポートや信号エラーの表示の配色によって、現在の認証方法を判断することができます。

方法	入力ポート	信号エラー
1 （初期設定）	HDMI1	HDMI1 信号エラー
2	HDMI1	HDMI1 信号エラー

3 - 9. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの 2 種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」（P.44）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする「カラーリセット」

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「カラーリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. < または > で「はい」を選択します。
4. ENTER を押します。

   カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする「リセット」

すべての設定内容を初期設定に戻します。

注意点

- HDMI 信号入力時の認証方法（「3 - 8. HDMI 信号入力時の認証方法を切り替える」（P.30））は、リセットを実行しても初期設定には戻りません。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「リセット」を選択し、ENTER を押します。
3. < または > で「はい」を選択します。
4. ENTER を押します。

   すべての設定内容が初期設定になります。

第 4 章　省電力機能について

4 - 1. パワーセーブの設定をする「パワーセーブ」

● モニター

外部機器の状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

参考

- 信号が入力されなくなったことを検出してから、約 15 秒後に省電力モードに移行します。

設定方法

1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。
「パワーセーブ」が表示されます。
3. < または > で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙
電源オフ		省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

外部機器がコンピュータの場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙
電源オフ	省電力モード	橙

外部機器がコンピュータ以外の場合

外部機器の状態	モニターの状態	電源ランプ
電源オン	オペレーションモード	青
電源オフ	省電力モード	橙

注意点

- 次の条件が重なると、「パワーセーブ」を「有効」に設定していてもモニターが省電力モードに移行しません。
  - サウンド設定の「パワーセーブ」を「サウンド オン」に設定している（「音声出力」（P.33））
  - 消音状態にしている（「音を消す」（P.28））

  このような場合には、消音を解除してください。

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

● 音声出力

モニターの省電力モード時に、スピーカーまたはヘッドホンから音声を出力する / しないの切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「サウンド設定」で「パワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。
   「パワーセーブ」が表示されます。
3. < または > で「サウンド オン」または「サウンド オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- HDMI 信号入力時、音源が HDMI の場合は、モニターの省電力モード時に音声は出力されません。

4-2. 電源ランプの表示を設定する「電源ランプ」

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「電源ランプ」を選択し、ENTER を押します。
   「電源ランプ」が表示されます。
3. < または > で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4-3. モニターの自動明るさ調整の設定をする「Auto EcoView」

Auto EcoView（オートエコビュー）を「オン」にするとモニター下部のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

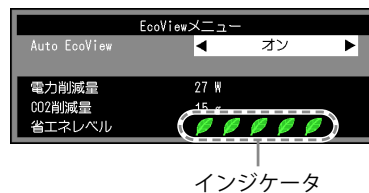
設定方法

1. リモコンの EcoView を押します。
   「EcoView メニュー」が表示されます。
2. < または > で「オン」または「オフ」を選択します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Auto EcoView の自動調整の範囲は、設定メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。

4-4. 省電力の度合いを確認する

EcoView メニューで電力削減量、CO2 削減量、省エネレベルを確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

設定方法

1. リモコンの EcoView を押します。
   「EcoView メニュー」が表示されます。

4-5. モニターの自動電源切断機能の設定をする「オフタイマー（分）」

モニターの電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。

設定範囲

無効、30、60、90、120、150、180

設定方法

1. リモコンの OFF TIMER を押します。
   OFF TIMER を押すたびに、設定時間が切り替わります。

解除方法

1.「無効」が表示されるまで、OFF TIMER を押します。

残り時間の確認方法

1. オフタイマーの設定中に、OFF TIMER を押します。
   電源が切れるまでの時間が表示されます。

延長方法

1. 残り時間の表示中に、OFF TIMER を押します。
   OFF TIMER を押すたびに、時間が延長されます。

第 5 章　接続する

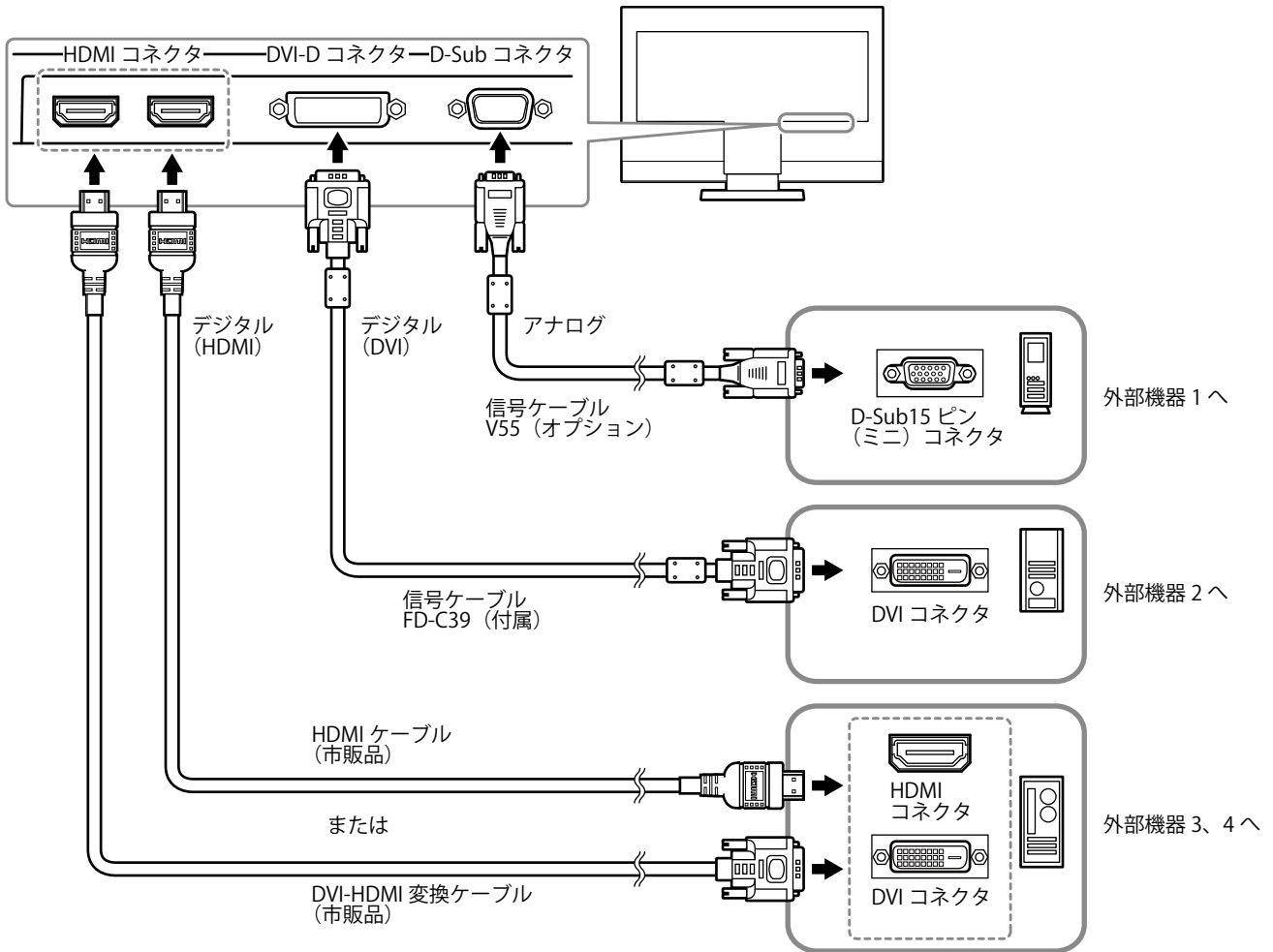
5 - 1. 複数の外部機器を接続する

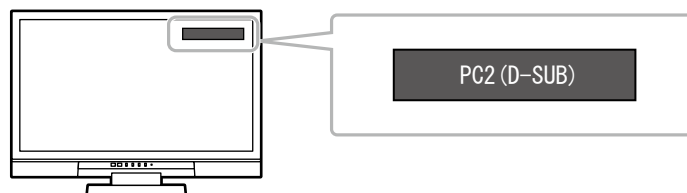
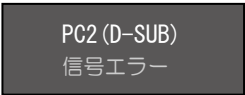
この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

- Dual Link ケーブルは使用しないでください。

接続例

HDMI コネクタ
DVI-D コネクタ
D-Sub コネクタ
デジタル（HDMI）
デジタル（DVI）
アナログ
信号ケーブル V55（オプション）
D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ
外部機器 1 へ
信号ケーブル FD-C39（付属）
DVI コネクタ
外部機器 2 へ
HDMI ケーブル（市販品）
または
DVI-HDMI 変換ケーブル（市販品）
HDMI コネクタ
DVI コネクタ
外部機器 3、4 へ

● 入力信号を切り替える

リモコンの (PC) または (HDMI) を押すと、入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。

参考

- 本体操作ボタンの SIGNAL で入力を切り替えることもできます（「1 - 2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）。

第 6 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・主電源を入れてください。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：赤色	・リモコンの POWER を押すか、または本体操作ボタンの ⏻ を押してみてください。
・電源ランプが点灯：青色	・設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.16）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・入力信号を切り替えてみてください。 ・外部機器を HDMI ポートに接続している場合は、認証方法を切り替えてみてください。いったん電源を切り、本体操作ボタンの SIGNAL を 5 秒以上押すと、認証方法が切り替わり電源が入ります。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
例： PC2（D-SUB） 信号エラー	・入力されている信号が仕様範囲外であることを示す表示です。 ・アナログ信号（D-Sub）/ デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC 信号）入力時は、次の対処方法も確認してみてください。 - コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2 - 1. 対応解像度 / 対応フォーマット」（P.13）参照）。 - コンピュータを再起動してみてください。 - グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

画面に関する症状（デジタル・アナログ共通）

症状	原因と対処方法
3. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	• 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。） • Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
4. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2 - 1. 対応解像度 / 対応フォーマット」（P.13）参照）。 • 設定メニューの「スムージング」で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す「スムージング」」（P.26）参照）。
5. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
6. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
8. 画面にノイズが現れる	• 設定メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください（「オーバードライブの強さを設定する「オーバードライブ」」（P.22）参照）。 • HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9. 画面が白っぽい、黒っぽい	• 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」（HDMI 入力時）、「黒レベル」（「黒レベルを調整する「黒レベル」」（P.17）参照）、「コントラスト」（「コントラストを調整する「コントラスト」」（P.17）参照）を調整してみてください。

画面に関する症状（デジタルのみ）

症状	原因と対処方法
10. 画面の色がおかしい（HDMI 入力時）	• 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。
11. 画面が点滅する（HDMI 入力時）	• HDMI ケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルが High Speed に対応しているか確認してください。

画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
12. 画像がずれている	・設定メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す「ポジション」」（P.25）参照）。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
13. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	・設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「縦縞を消す「クロック」」（P.24）参照）。
14. 画面全体がちらつく、にじむように見える	・設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる「フェーズ」」（P.24）参照）。

その他の症状

症状	原因と対処方法
15. 設定メニューにおいて、「画面調整」の「スムージング」が選択できない	• 次の表示解像度や設定の場合は、スムージングを選択することができません。 - 解像度が 1920 × 1080 の場合 - 画面サイズが「ノーマル」の場合
16. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • この機能は Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
17. 音声が出ない	• ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 • 音量が「0」になっていませんか。 • 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 • HDMI 入力時は外部機器および設定メニューの「音源」の設定を確認してみてください（「3 - 2. HDMI 信号入力時の音源を切り替える「音源」」（P.28）参照）。
18. ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）が動作しない	• HDMI 入力に接続したコンピュータでは ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）は動作しません。 • 設定メニューの「DDC/CI」の設定を確認してみてください（「3 - 4. DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する「DDC/CI」」（P.29）参照）。 • 「Smart Resolution」のデモ表示中は DDC/CI 通信が無効となるため、ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）は動作しません。
19. 省電力モードに移行しない	• 次の条件が重なると、「パワーセーブ」を「有効」に設定していてもモニターが省電力モードに移行しません。 - サウンド設定の「パワーセーブ」を「サウンド オン」に設定している（「音声出力」（P.33）） - 消音状態にしている（「音を消す」（P.28）） このような場合には、消音を解除してください。

第 7 章　ご参考に

7 - 1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社の Web サイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。取り付けにはこの製品に付属の M4×12mm ねじをご使用ください。
  - 取付部のねじ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°　下 45°　（横表示時、および時計回り 90°　に縦表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

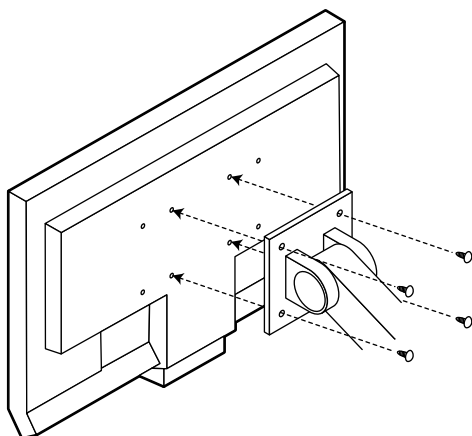
取付方法

1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンドベースを取り外します。

スタンドベースを固定しているねじを回して取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

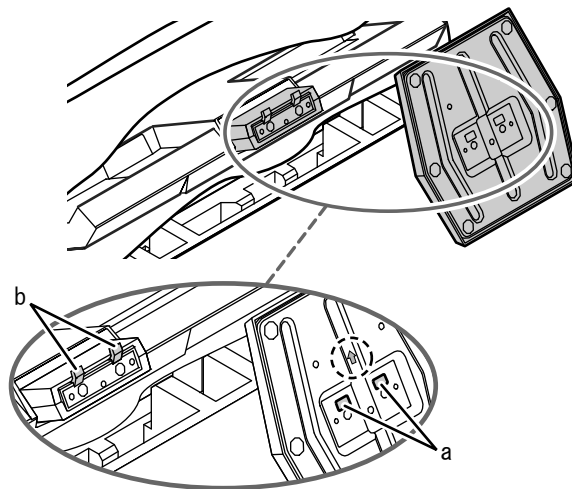
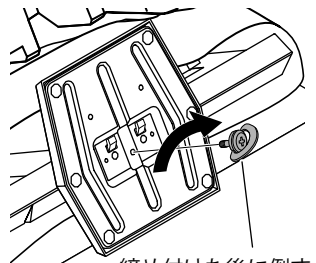
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。

7-2. スタンドベース取付方法

いったん取り外したスタンドベースは、次の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

取付方法

1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンドベースを取り付けます。

スタンドベースを図のように「⬆」の方向を上にして持ち、スタンドベースの穴（a）2 箇所にモニター本体底面のツメ（b）2 箇所を合わせてはめ込みます。

3. 付属のねじを「LOCK」の方向に回して、スタンドベースを固定します。

7-3. モニター情報を表示する「インフォメーション」

製品名、製造番号、使用時間、解像度、入力信号を表示します。

設定方法

1. 設定メニューの「インフォメーション」を選択し、(ENTER) を押します。
「インフォメーション」が表示されます。

注意点

- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

7 - 4. 仕様

項目			仕様
液晶パネル	サイズ		58cm（23.0）型
	種類		カラー TFT、IPS
	表面処理		アンチグレア、ハードコーティング
	表面硬度		3H
	視野角		左右 178°、上下 178°（CR ≧ 10）
	ドットピッチ		0.2655mm
	応答速度		黒→白→黒：約 16ms 中間階調域：約 6ms（オーバードライブ設定：強）
	コントラスト比		1000：1（コントラスト拡張設定「オン」時 1500：1）
水平走査周波数	アナログ		31 〜 81kHz
	デジタル	DVI	31 〜 68kHz
		HDMI	31 〜 68kHz
垂直走査周波数	アナログ		55 〜 76Hz（ノンインターレース）
	デジタル	DVI	59 〜 61Hz（ノンインターレース） （VGA TEXT 時：69 〜 71Hz）
		HDMI	49 〜 61Hz（VGA TEXT 時：69 〜 71Hz）
ビデオ信号　対応フォーマット			VGA / 525p（480p）/750p（720p）/1125p（1080p）：60Hz 625p（576p）/750p（720p）/1125p（1080p）：50Hz
音声信号　対応フォーマット			2ch リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz）
解像度			1920 ドット× 1080 ライン
ドットクロック（最大）			148.5MHz
最大表示色			約 1677 万色（約 10 億 6433 万色中 /10bit LUT）
表示サイズ（水平×垂直）			509.76mm × 286.74mm
電源			AC100V ± 10%、50/60Hz、0.6A
消費電力	画面表示時		34W 以下
	省電力モード時		1.0W 以下（D-Sub 1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時）
	電源オフ時		0.17W 以下
	主電源オフ時		0W
信号入力コネクタ			D-Sub15 ピン（ミニ）
			DVI-D コネクタ（HDCP 対応）
			HDMI TypeA ※× 2
アナログ信号　入力同期信号			セパレート、TTL、正 / 負極性
アナログ信号　入力映像信号			アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
デジタル信号　伝送方式			TMDS（Single Link）
音声出力			スピーカー出力：0.5W+0.5W（8 Ω、THD+N ≦ 1%） ヘッドホン出力：2mW+2mW
ライン入力			入力インピーダンス：44k Ω（typ.） 入力レベル：2.0Vrms（最大）
プラグ＆プレイ機能			VESA DDC 2B/EDID structure 1.3

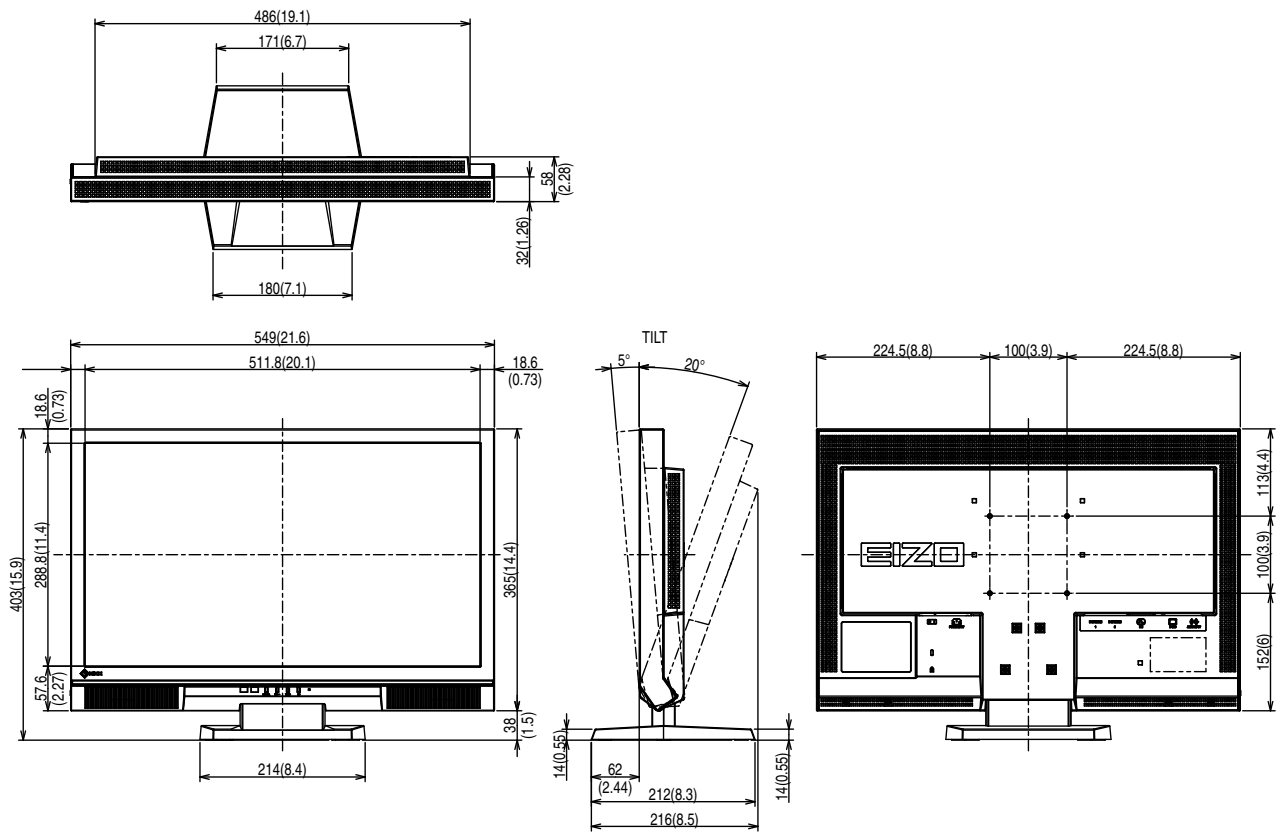
※　HDMI CEC 機能（相互制御機能）には対応していません。

寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体	549mm × 403mm × 212mm
	本体（スタンドなし）	549mm × 393mm × 58mm
質量	本体	約 6.2kg
	本体（スタンドなし）	約 5.4kg
可動範囲		チルト角度：上 20°下 5°
環境条件	温度	動作温度範囲：5℃～ 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃
	湿度	動作湿度範囲：20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% ～ 90% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：700hPa ～ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa ～ 1060hPa

主な初期設定値

カラーモード	D-Sub、DVI-D 入力時：User1 HDMI 入力時：Game
オフタイマー	無効
画面サイズ	D-Sub、DVI-D 入力時：フルスクリーン HDMI（PC 信号 /HD 信号）入力時：フルスクリーン HDMI（SD 信号）入力時：自動
Auto EcoView（オートエコビュー）	オン
スムージング	3
音声レベル	0
サウンド設定 - パワーセーブ	サウンド オフ
PowerManager - パワーセーブ	有効
DDC/CI	有効
操作ロック	オフ
起動ロゴ	オン
電源ランプ	有効
言語選択	日本語

外観寸法

単位：mm（インチ）

オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
信号ケーブル（D-Sub15 ピン（ミニ））	V55

オプション品に関する最新情報は、当社の Web サイトを参照してください。

http://www.eizo.co.jp

7 - 5. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この製品の場合は横 1920 個、縦 1080 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1080 の解像度であれば、画像は画面全体（1 対 1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と赤の色差（U）、青の色差（V）により表現するYUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は３色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ信号入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVI コネクタや HDMI コネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の一つである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで伝送することができます。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM（Video Electronics Standards Association - Display Power Management）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

7 - 6. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、設定メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数			極　性	
		ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
640 × 480	VGA/CEA-861	25.18	31.47	59.94	負	負
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00	負	負
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
800 × 600	VESA	49.50	46.88	75.00	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03	正	正
1280 × 720	CEA-861	74.25	45.00	60.00	正	正
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1280 × 1024	VESA	135.00	79.98	75.03	正	正
1680 × 1050	VESA CVT	146.25	65.29	59.95	負	正
1680 × 1050	VESA CVT RB	119.00	64.67	59.88	正	負
1920 × 1080	CEA-861	148.50	67.50	60.00	正	正

付録

商標

VESAはVideo Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows、Windows Vista、Windows Media、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBookはApple Inc.の登録商標です。
Adobe、Adobe AIR、Acrobat、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3はDataColor Holding AGの商標です。
Eye-One、ColorMunki、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManagerは株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。
C@T-one、FlexViewは株式会社ナナオの日本登録商標です。
ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor Proは株式会社ナナオの商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

ENERGY STAR

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、この製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

TCO

この製品は、オフィス機器の安全性、エルゴノミクス、環境などに関するTCO規格を取得しています。規格の概要は当社のWebサイトを参照してください。
http://www.eizo.co.jp

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- 製品名・製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収・リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引取りしています。
- なお、詳しい情報については、当社の Web サイトもあわせて参照してください。
（http://www.eizo.co.jp）

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で業界団体「パソコン 3R 推進協会」がお引取りいたします。当社の Web サイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

個人のお客様

PC リサイクルマークの無償提供について

この製品は、PC リサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様に PC リサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、次の Web サイトからお申し込みください。
マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

情報機器リサイクルセンター
Web サイト：http://www.pc-eco.jp
※「PC リサイクルマーク申込」からお入りください。
（回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PC リサイクルマークについて

個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収・再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。
情報機器リサイクルセンター
電話：03-3455-6107
月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9:00 ～ 17:00